

〈セミナーのご案内〉

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回				
覧				

高等教育活性化シリーズ 206 (通算 521 回)

2012 年 3 月 23 日 (金)

気になる学生のために——

「困り」「つまづき」支援体制の新展開


～ 発達障害の理解と配慮はどうあるべきか／何を目指す支援か ～

- ※ 精神科医からの提言／大学で問題となる例～履修登録、講義、実習、恋愛／教育と医療の役割分担
- ※ 未診断学生の学生生活と進路／個別と集団の場での支援／どう支援につなげるか／学内・社会連携
- ※ 「支援体制が整う」「支援がない」とは／ニーズ／体制構築プロセス～人材・予算・会議システム
- ※ 発達障害者支援法と教育上の配慮義務／大学設置基準と障害学生支援の教育情報公表

● 講師陣 ●

福田 真也 氏 / 明治大学 学生相談室相談員 あつぎ心療クリニック医師
 山本 佳子 氏 / いわき明星大学 人文学部心理学科 准教授
 金澤 貴之 氏 / 群馬大学 教育学部障害児教育講座 准教授
 青野 透 氏 / 金沢大学 大学教育開発・支援センター
 教育支援システム研究部門 教授

2012 年 3 月 23 日 (金) 日本教育会館 会議室 (東京・神保町)

 地域科学研究会
高等教育情報センター

日時：2012 年 3 月 23 日 (金) 10:00～16:50

会場：日本教育会館 (東京・神保町)

千代田区一ツ橋 2-6-2 TEL 03-3230-2833

アクセス：東京メトロ半蔵門線・都営新宿線「神保町駅」

A1 出口より徒歩 3 分

<http://www.jec.or.jp/koutuu/>

※会場の地図及び受講証を送付しますので
必ずご確認ください。

参加費：A. ご一名 (資料及びテキスト代『Q&A 大学生の
アスペルガー症候群』込み) 44,000 円 (消費税込)

B. メディア参加 (テキスト・資料・音声 CD 送付)
45,000 円 (送料、消費税込)

※参加費の払い戻しは致しません。申込者の都合
が悪いときには代理の方がご出席ください。

申込方法：参加申込書に所要事項を記入のうえ

FAX または E-mail にてご送付ください。

支払方法：銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。

みずほ銀行麹町支店 普通 1159880

三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767

三井住友銀行麹町支店 普通 7411658

郵便振替 00110-8-81660

口座名 < (株) 地域科学研究会 >

※ご請求なき場合は振込受領書を領収書に
代えさせていただきます。

申込先：地域科学研究会・高等教育情報センター

東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106

Tel : 03 (3234) 1231 / Fax : 03 (3234) 4993

E-mail : kkj@chiikikagaku-k.co.jp

URL : <http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/>

☆ FD・SD 及び BD 研修の本格化に伴い、2007 年から受講・修了証明書を発行しております。

キリトリ線 (※参加申込みの折は必ずお送りください)

研究会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 206

2012 年 月 日

「困り」「つまづき」支援体制の新展開

当日参加 メディア参加

(□に✓印を入れてください)

勤務先 _____

連絡部課・担当者名 _____

所在地 〒 _____

メールアドレス _____

TEL _____

FAX _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

(通信欄) 支払方法 (□郵便振替 □当日払い □銀行振込) 必要書類 [□請求書 □見積書]

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
10:00 ～ 10:10	<input type="checkbox"/> 企画趣旨 青野 透 / 金沢大学 大学教育開発・支援センター 教育支援システム研究部門 教授
10:10 ～ 11:40	<input type="checkbox"/> 発達障害学生支援に対する精神科医からの提言 ～クリニックの一精神科医と学校医の立場から～ あつぎ心療クリニック 福田 真也 1. アスペルガー症候群って知っていますか? : 発達障害の支援ガイド DVD 放映 (1) 総論編～発達障害とは? アスペルガー症候群とはどのような障害か? (2) 対応編～大学において問題行動を起こす学生4例～履修登録、講義、実習、恋愛 2. ADHDとLD (1) ADHD(注意欠陥多動性障害)とはどのような障害か? (2) ADHDの実例 (3) LD(学習障害)とはどのような障害か? (4) LDの実例 3. 発達障害に対する医療機関での対応 (1) 教育と医療の役割分担～受診を勧める前に～診断と告知のメリットとデメリット (2) 医療機関での診断について (3) 並存する障害と併発しやすい疾患 (4) 薬物療法について (質疑応答)
11:50 ～ 13:00	<input type="checkbox"/> 学生相談の立場からできること～発達障害特徴のある学生のために ～自閉症スペクトラム障害を持つ学生の進路を考える支援～ いわき明星大学 山本 佳子 1. 未診断の発達障害学生の学内生活と進路の現状 (1) 未診断の発達障害学生のつまづき (2) 本人たちの思いと周囲の目 (3) 自閉症スペクトラム障害を持つ学生の可能性 (4) 過去の進路決定とその後 2. 学生相談室等での支援の実際 (1) 個別相談でできること (2) 集団の場でできること (3) 進路選択 (4) いくつかの事例 3. 今後の支援の展開と課題 (1) どう支援につなげるか (2) 学内連携のもと、どう育てるか (3) 進路選択のために必要なこと (4) 社会との連携 (質疑応答)
14:00 ～ 15:30	<input type="checkbox"/> 障害学生に対する全学連携による支援の展開 群馬大学 金澤 貴之 1. 「支援体制が整う」とはどういうことか? (1) 支援体制がない大学と、ある大学の差 (2) システムの完成形を先にイメージする (3) 潜在的ニーズの把握 2. 現状の問題点の把握 (1) 「支援がない」とはどういうことか? (2) 「公的」な支援はある。しかし…… 3. 支援体制構築のプロセス (1) 最低限必要な人材の3要素 (2) 人材と予算をどう確保するか (3) 大学の「会議」システムを把握する (質疑応答)
15:40 ～ 16:50	<input type="checkbox"/> 発達障害者支援法による配慮の義務付けと大学設置基準 金沢大学 青野 透 1. 発達障害者支援法第八条が求めるもの (1) 教育基本法第四条第二項による義務付け (2) 高等教育における適切な教育上の配慮 (3) 大学入試センター試験における受験特別措置 2. 大学設置基準第四十二条の二(平成22年追加)が求めるもの (1) 厚生補導を行うための専任の職員を置く組織 (2) 卒業後の社会的及び職業的自立のために必要な能力 (3) 教育課程による実施と厚生補導 3. 教育情報としての障害学生支援に関する公表 (1) 大学設置基準第二十五条の三によるFDの必要条件 (2) 学校教育法施行規則172条の2における学生支援に関する情報と認証評価 (3) 国立大学法人法第二十二条に規定する業務としての学生支援 (質疑応答)

福田真也著 『Q & A 大学生のアスペルガー症候群』2010.6刊. 明石書店

3月末まで

小会に直接メールにて、本のみのご注文も承ります。2,100円税込→特価1,680円税込+送料300円
 内容詳細は <http://www.akashi.co.jp/book/b67012.html>